

## めざせ、寄居子ども博士！ 寄居子ども博士検定開催！



11月28日に、役場、用土・男衾のコミュニティセンターで「第2回寄居子ども博士検定」が行われました。この検定は、寄居町に関するさまざまなことを知ってもらい、町をもっと好きになってほしいという願いから年に一度、町内に住む小学4年生、5年生、6年生を対象に行っています。問題は4つの選択肢から正解を選ぶ択一式で、寄居町の自然や文化、歴史、町づくりなどの広い分野から、全部で50問出題されました。今年には6つの小学校から97人が集まり、寄居子ども博士（100点満点）をめざして、熱心に取り組んでいました。

## 「エキナセアうどん」第9位！ 埼玉B級ご当地グルメ王決定戦参加！

11月21日に加須市で開催された「第7回埼玉B級ご当地グルメ王決定戦」に、町商工会青年部や料飲店組合を中心とした皆さんが、寄居町特産のエキナセアを使用した「エキナセアうどん」を開発して出場しました。

順位は来場者の投票で決定され、全40品目中第9位の成績を収めました。商工会青年部長の夏川さんは「みんなで試行錯誤を繰り返し作り上げた商品が高評価をいただきうれしい！ 今後の取扱店拡大に向けて更に努力していきます」と話してくれました。



## 保泉光子さん 毎日農業記録賞最優秀賞受賞！

12月13日に、千代田区の毎日新聞東京本社で「第38回毎日農業記録賞表彰式」が行われ、保泉光子さん（立原）が一般の部で「最優秀賞」「農林水産大臣賞」などを受賞しました。

受賞作の「養蚕（天の虫）が教えてくれた農業」と題した作文では、保泉さんが寄居町に嫁いでから今まで携わってきた養蚕への想い、地域農業への取り組みなどが、農業者としての視点でやさしく綴られています。全国的に減少が続いている養蚕業ですが、日本の伝統ある農業の一つとして、産業と文化の両面から守り続けたいと積極的に活動し、また特産品の開発など新しいことにチャレンジしていく保泉さんの取り組みが高く評価されたものです。



## 認定されました！ さいたま農村女性アドバイザー・ふるさとの味伝承士



中島さん（右）と新田さん（左）

11月15日に大宮ソニックシティで「平成22年度アグリシンポジウム」が開催され、中島久子さん（用土2）が“さいたま農村女性アドバイザー”として、新田美智子さん（保田原）が“ふるさとの味伝承士”として、それぞれ埼玉県から認定されました。

さいたま農村女性アドバイザーは、女性農業者の社会的役割の向上および農業・農村における男女共同参画の推進を目的に、農業経営や地域社会に参画している女性農業者を埼玉県が認定するものです。

また、ふるさとの味伝承士は、食文化の伝承活動による地元農産物の普及と、農業・農村の振興を目的とし、意欲的に地域活動に取り組んでいる農業者を埼玉県が認定するものです。

認定されたお二人は「地域のために貢献できるよう、明るく、楽しく活動に取り組んでいきたいです」と話してくれました。

## 寄居ミニバスケットボール 県大会出場！

11月3日と7日の2日間、「第41回埼玉県ミニバスケットボール大会」が熊谷スポーツ文化公園等で行われ、寄居ミニバスケットボールスポーツ少年団が男子の部に出場しました。

大会には、県内から24チームが参加。寄居ミニバスはEブロックの1回戦で久喜ミニバスに快勝しましたが、2回戦で戸田ミニバスと対戦し、惜しくも敗れ、Eブロック3位という結果でした。キャプテンの渡邊英寿さんは「県大会出場を目標に仲間と練習をがんばってきたので、出場できてうれしかったです。次の大会では勝ち抜いて、優勝目指してがんばります」と意気込みを話してくれました。



## 寄居FC2001 埼玉県サッカー少年団大会第3位！



11月7日から21日にかけて「第39回埼玉県サッカー少年団中央大会」が、熊谷スポーツ文化公園や埼玉スタジアム第2・3グラウンドで行われ、寄居FC2001スポーツ少年団が出場しました。

県内の強豪32チームが出場した大会で寄居FCは順調に勝ち進み、準決勝に進出。準決勝では越谷FCジュニアと対戦し接戦の末0対1で惜しくも敗れましたが、第3位となりました。

久保田コーチは「ここまで来られたのは、選手たちががんばった成果だと思います。選手には、今まで支えてくれた大勢の仲間、指導者、保護者へ感謝を忘れないように伝えていきたいと思っています。ご声援ありがとうございました」と話してくれました。

## 鉢形小学校 全日本小学校ホームページ大賞受賞！



11月13日に新宿区の損保ジャパン本社ビルで全日本小学校ホームページ大賞の表彰式が行われ、鉢形小学校が、全国で1位に与えられる「J-KIDS大賞」を受賞しました。

鉢形小のホームページは、さまざまな種類のプログラムが充実していて、児童・職員・保護者等の積極的な参加により毎日の活動が詳細に伝わってきます。

情報委員会の小澤佳奈さんは「大賞に選ばれてとてもうれしかったです。日本一だと知ったときは予想もしていなかったのですごく驚きました。これからもみんなが楽しくなるホームページを作っていきます」と話してくれました。